

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

福岡県知事 殿

提出者

〈都道府県名〉福岡県

住 所

〈区名以下〉宮若市上有木 1 番地

氏 名

〈法人名〉トヨタ自動車九州株式会社

〈代表者役職・氏名〉代表取締役社長 長木 哲朗

電話番号 0949-34-2158

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場
事業場の所在地	〈都道府県名〉福岡県〈区名以下〉宮若市上有木 1 番地
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	自動車製造2ライン 生産能力 43万台/年
③ 従業員数	約8,600人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	別紙
---------	----



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	1,049 t	30 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排出量	398 t	1,699 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	873 t	11 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	2 t	20 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	0.47 t	t	
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
(これまでに実施した取組) ・排水汚泥の発生抑制 ・塗料系粕の発生抑制 湿式⇒乾式ブースによる廃棄物発生量の抑制			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	942 t	30 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排出量	250 t	1,850 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	920 t	40 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	2 t	25 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	1 t	t	
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・廃アルカリの内製処理検討 ・排水汚泥脱水による発生量の抑制 ・塗料系粕の発生抑制(継続) 湿式⇒乾式ブースによる廃棄物発生量の抑制			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各部署排出時の分別区分(有価売却品、産業廃棄物)による発生源抑制		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各部署排出時の分別区分(有価売却品、産業廃棄物)による発生源抑制及び有価物売却可推進		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまで実施した取組) ・特になし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまで実施した取組) ・特になし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	108 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t	
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) ・脱水機導入による汚泥脱水_R7年9月～			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまで実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
・特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
①現状	全処理委託量		1,049 t	30 t
	優良認定処理業者への委託量		1,049 t	30 t
	再生利用業者への委託量		1,049 t	30 t
	認定熱回収業者への委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量		398 t	1,699 t
	優良認定処理業者への委託量		398 t	1,699 t
	再生利用業者への委託量		398 t	1,699 t
	認定熱回収業者への委託量		0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への委託 ・処理状況、方法等の現地確認(1/1Y) 				
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
②計画	全処理委託量		942 t	30 t
	優良認定処理業者への委託量		942 t	30 t
	再生利用業者への委託量		942 t	30 t
	認定熱回収業者への委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量		250 t	1,850 t
	優良認定処理業者への委託量		250 t	1,850 t
	再生利用業者への委託量		250 t	1,850 t
	認定熱回収業者への委託量		0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)				
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきた活動の継続 				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
①現状	全処理委託量		873 t	11 t	
	優良認定処理業者への委託量		808 t	0 t	
	再生利用業者への委託量		873 t	11 t	
	認定熱回収業者への委託量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類		金属くず	ガラスくず等	
	全処理委託量		2 t	20 t	
	優良認定処理業者への委託量		2 t	20 t	
	再生利用業者への委託量		2 t	20 t	
	認定熱回収業者への委託量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への委託 ・処理状況、方法等の現地確認(1/3Y) 				
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
全処理委託量			920 t	40 t	
優良認定処理業者への委託量			850 t	0 t	
再生利用業者への委託量			920 t	40 t	
認定熱回収業者への委託量			0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量			0 t	0 t	
産業廃棄物の種類			金属くず	ガラスくず等	
全処理委託量			2 t	25 t	
優良認定処理業者への委託量			2 t	25 t	
再生利用業者への委託量			2 t	25 t	
認定熱回収業者への委託量			0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量			0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)					
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきた活動の継続 					

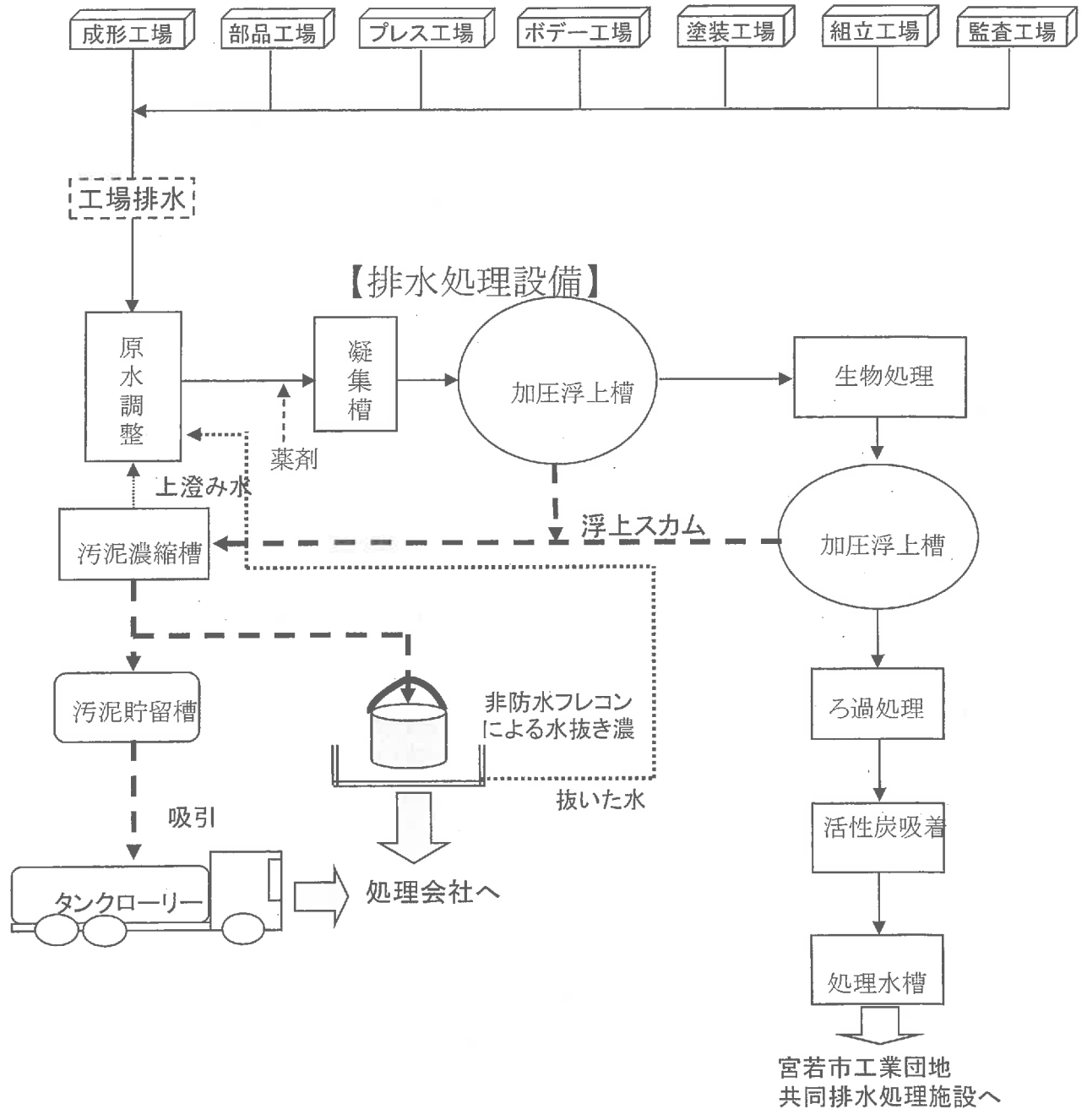
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物		
①現状	全処理委託量	0.5	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量の	0.5	t	t	
	再生利用業者への処理委託量の	0.5	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量の	0	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の	0	t	t	
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量		t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量の		t	t	
	再生利用業者への処理委託量の		t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量の		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の		t	t	
	(これまで実施した取組)				
	・蛍光灯からLED蛍光灯への置き換え				
	②計画	【目標】			
産業廃棄物の種類		水銀使用製品産業廃棄物	0		
全処理委託量		1	t	t	
優良認定処理業者への処理委託量の		1	t	t	
再生利用業者への処理委託量の		1	t	t	
認定熱回収業者への処理委託量の		0	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の		0	t	t	
産業廃棄物の種類		0		0	
全処理委託量			t	t	
優良認定処理業者への処理委託量の			t	t	
再生利用業者への処理委託量の			t	t	
認定熱回収業者への処理委託量の			t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の			t	t	
(今後実施する予定の取組)					
・蛍光灯からLED蛍光灯への置き換え継続					

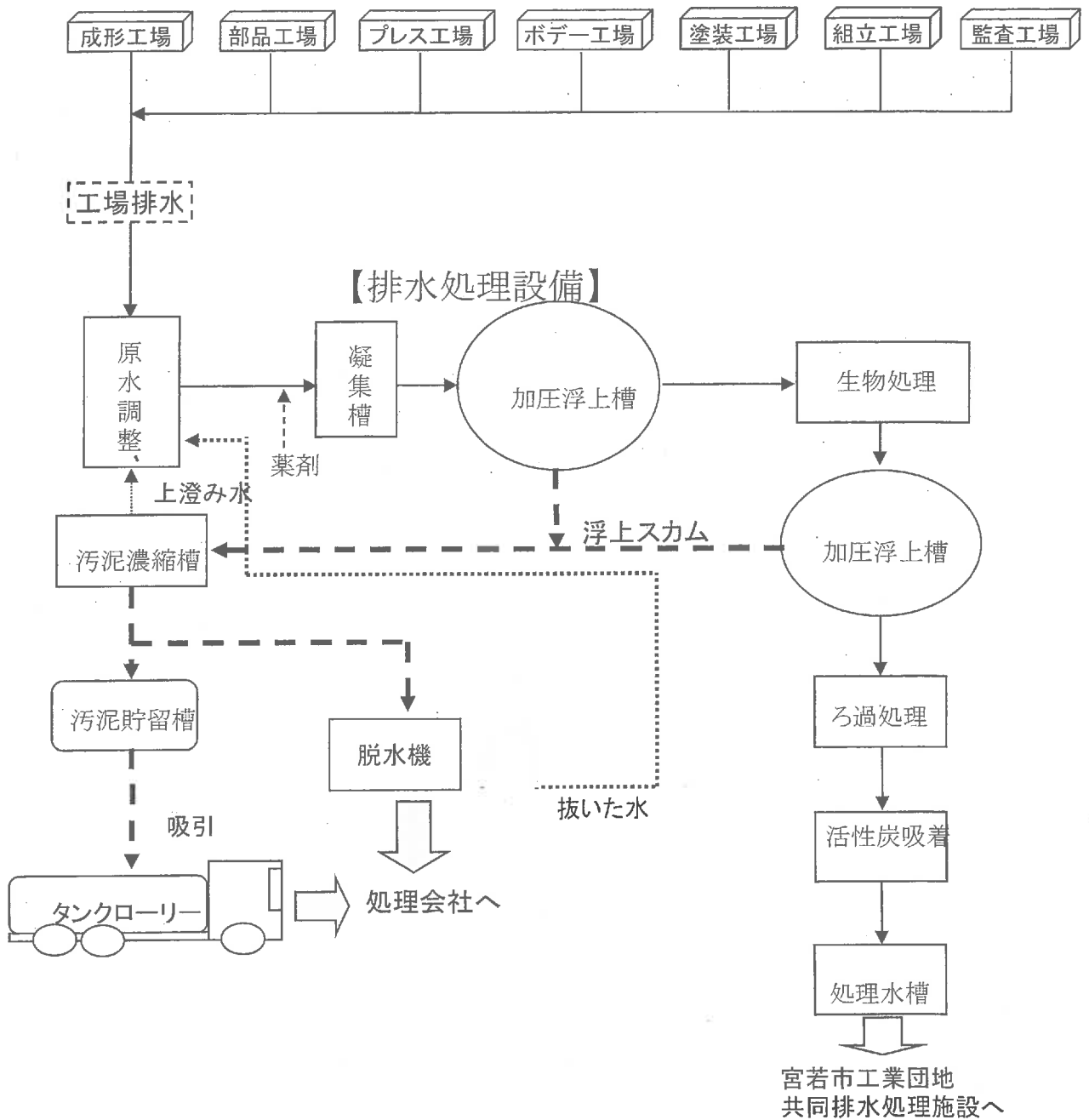
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

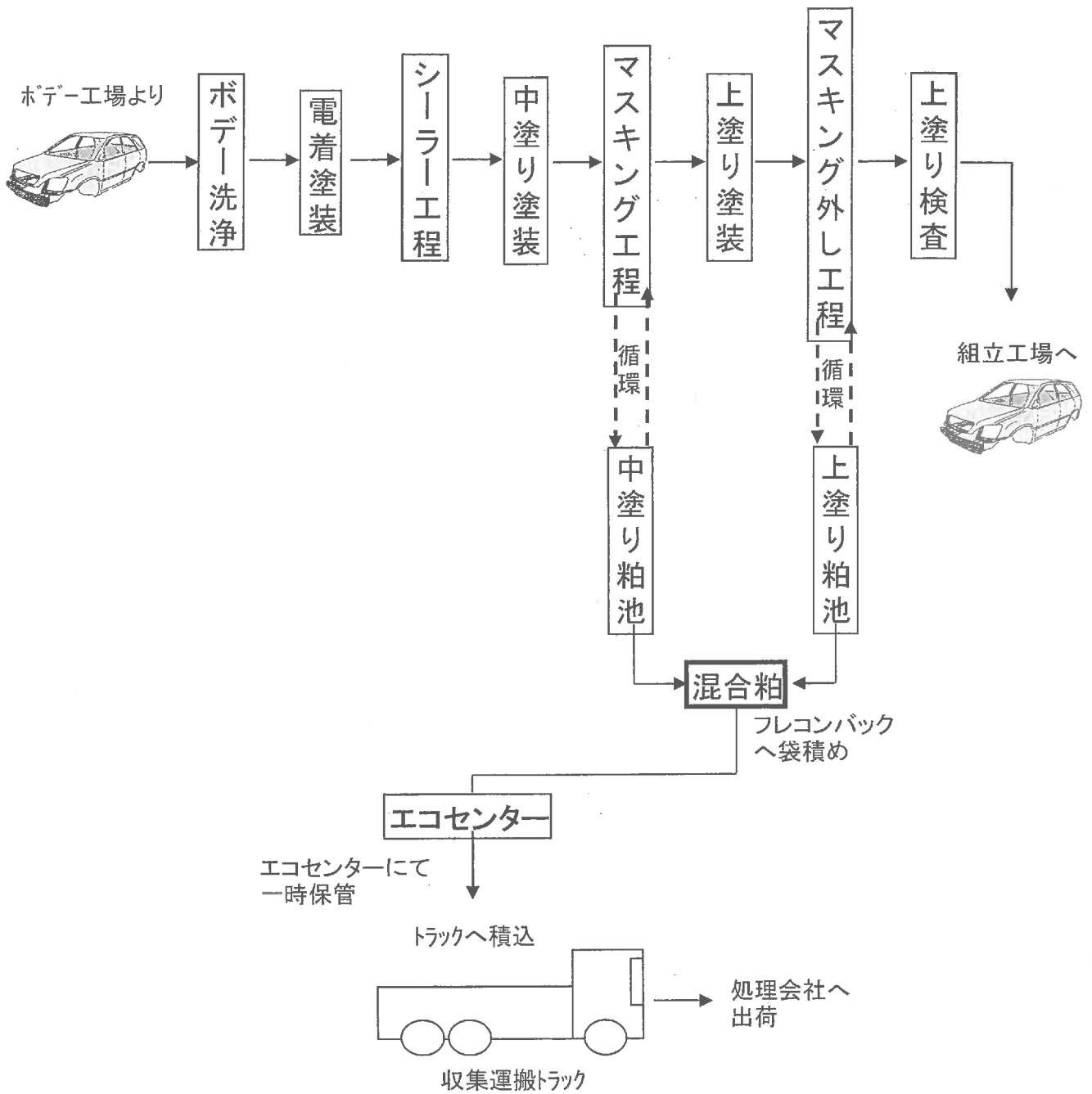
排水濃縮汚泥フローシート



排水濃縮汚泥フローシート



汚泥（混合粕）フローシート

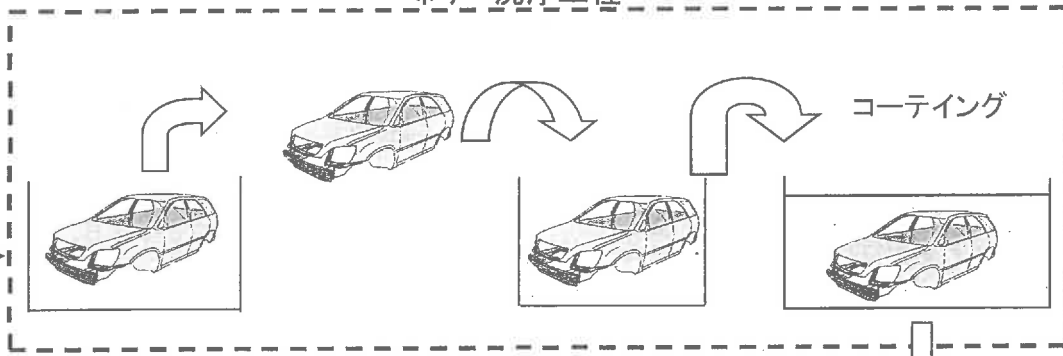


汚泥(ボンデ「化成スラッジ」)フローシート

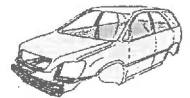
ボデー工場より



ボデー洗浄工程



組立工場へ



フレコンバック
へ袋積み

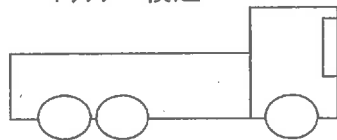
化成スラッジ
(ボンデ粕)

エコセンター

吊り下げて、2週間おき
水抜き実施

エコセンターにて
一時保管

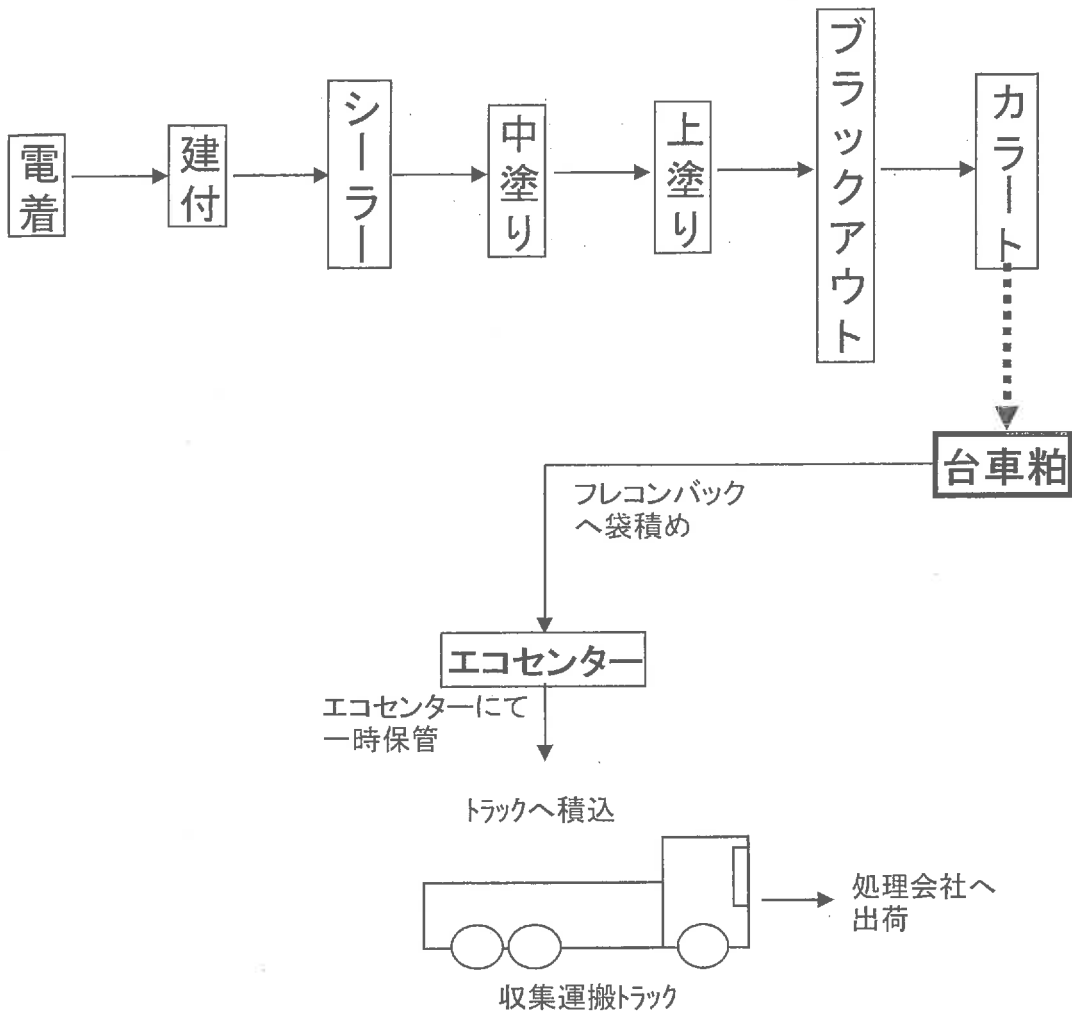
トラックへ積込



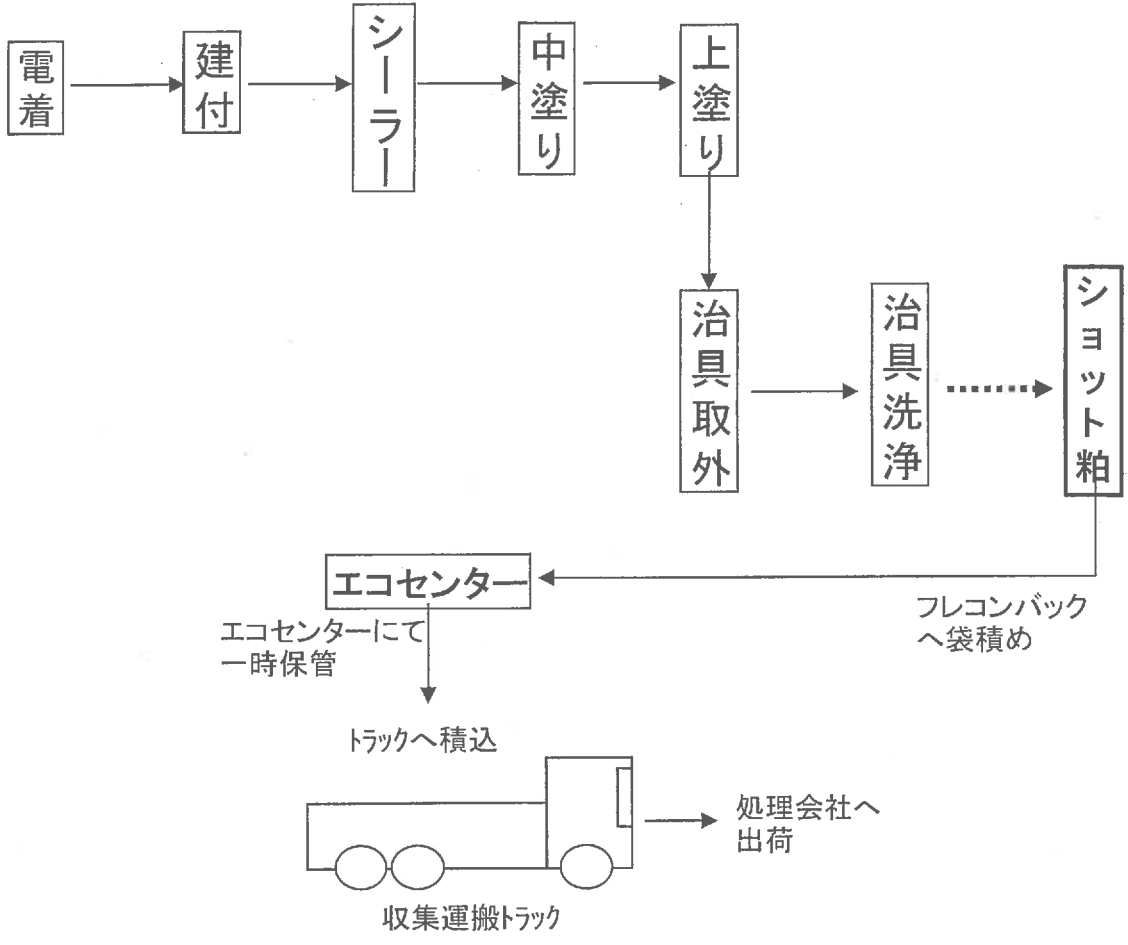
収集運搬トラック

処理会社へ
出荷

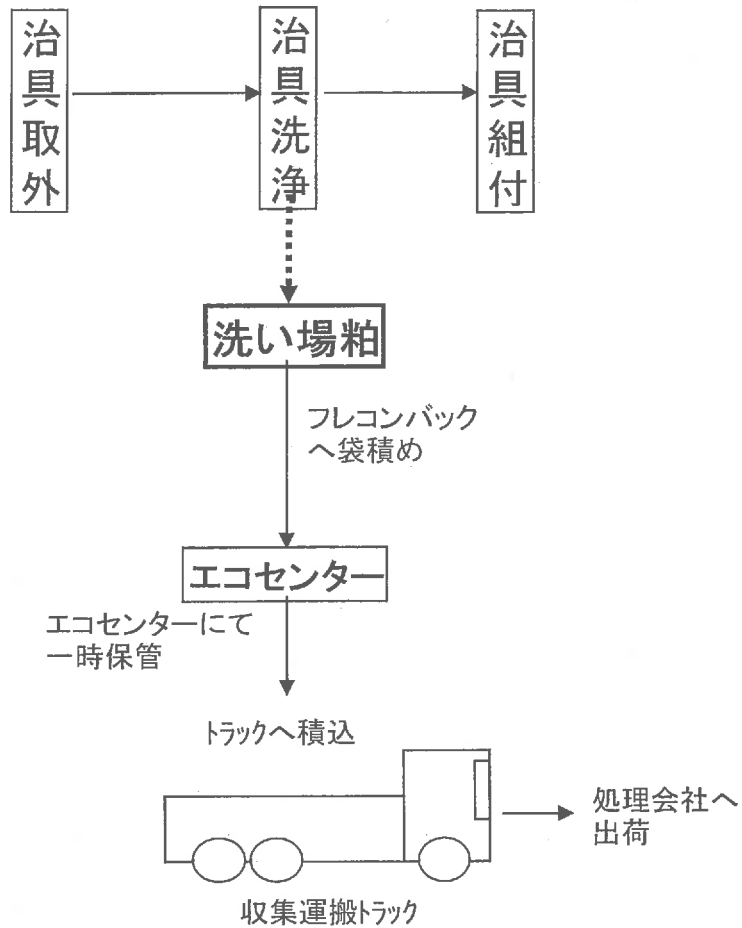
汚泥(混合粕)フローシート



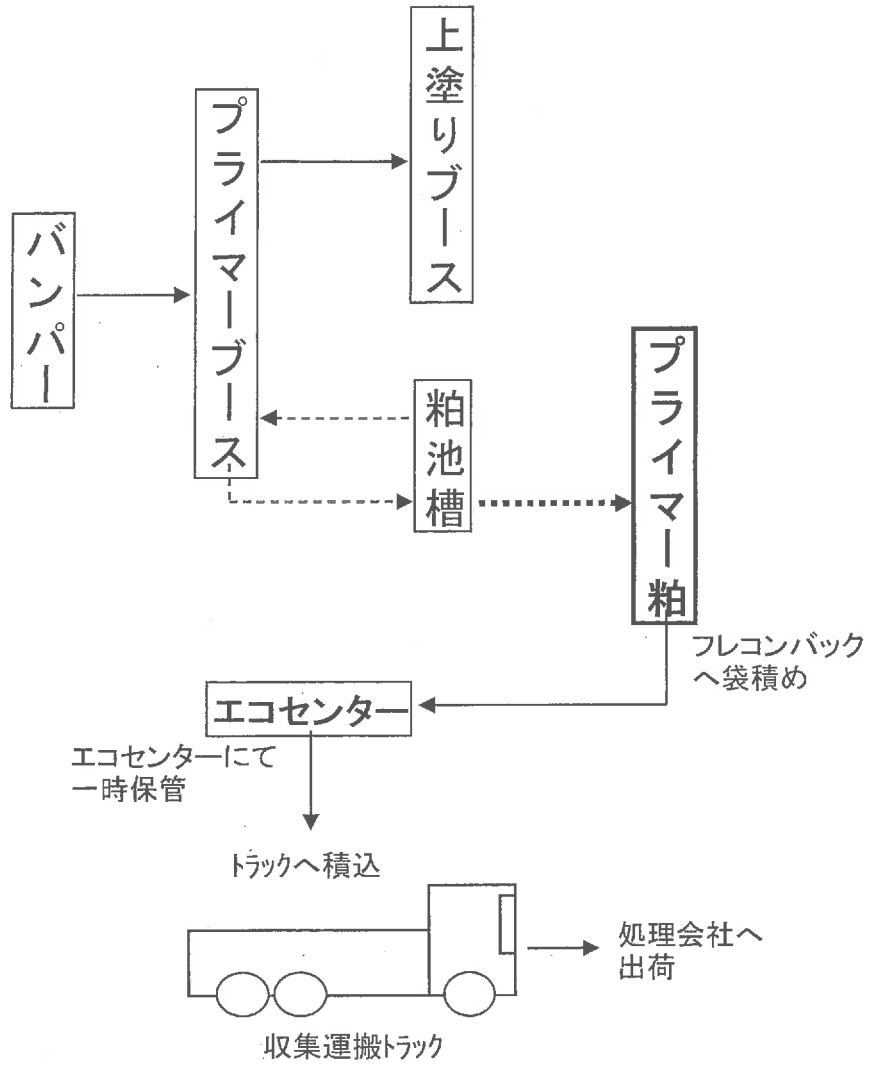
汚泥(混合粕)フローシート



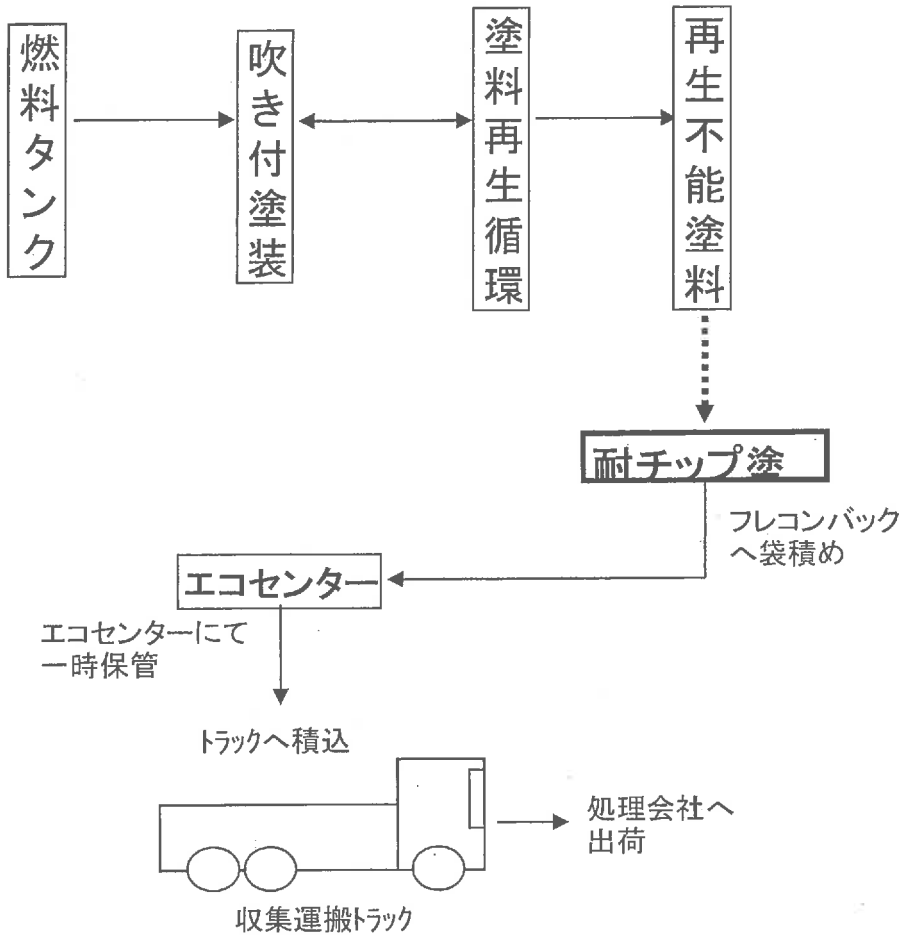
汚泥(混合粕)フローシート



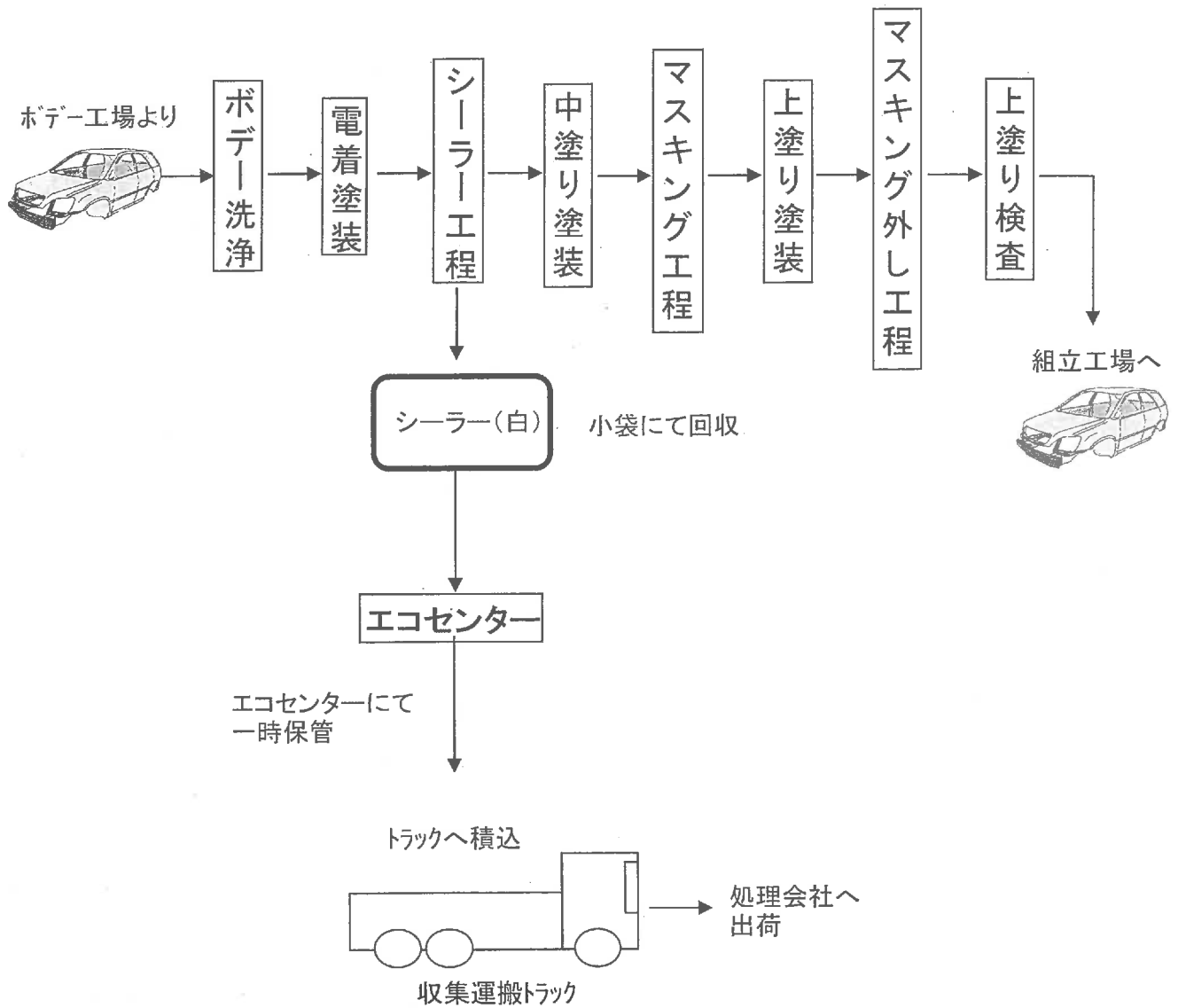
汚泥(混合粕)フローシート



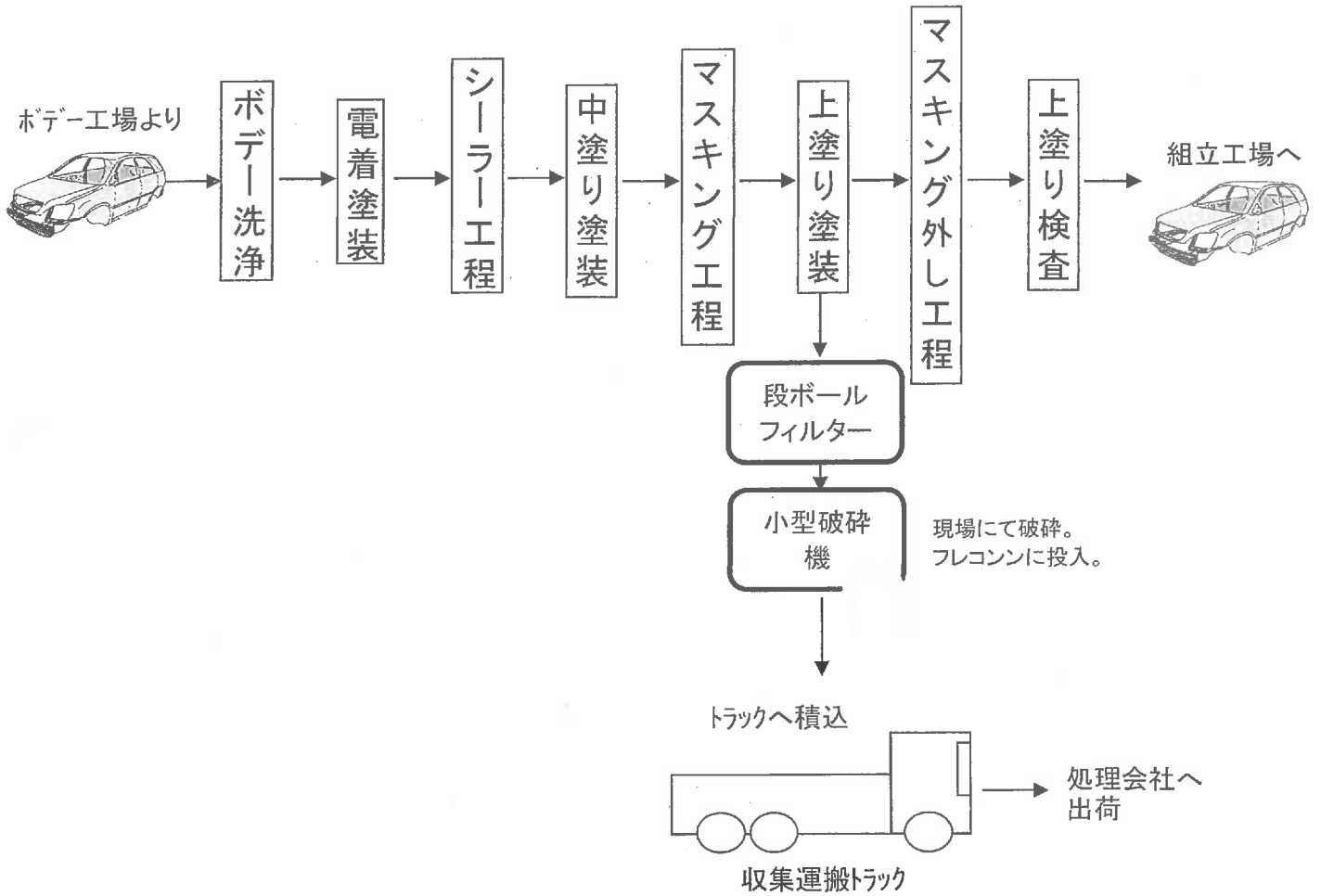
汚泥(混合粕)フローシート



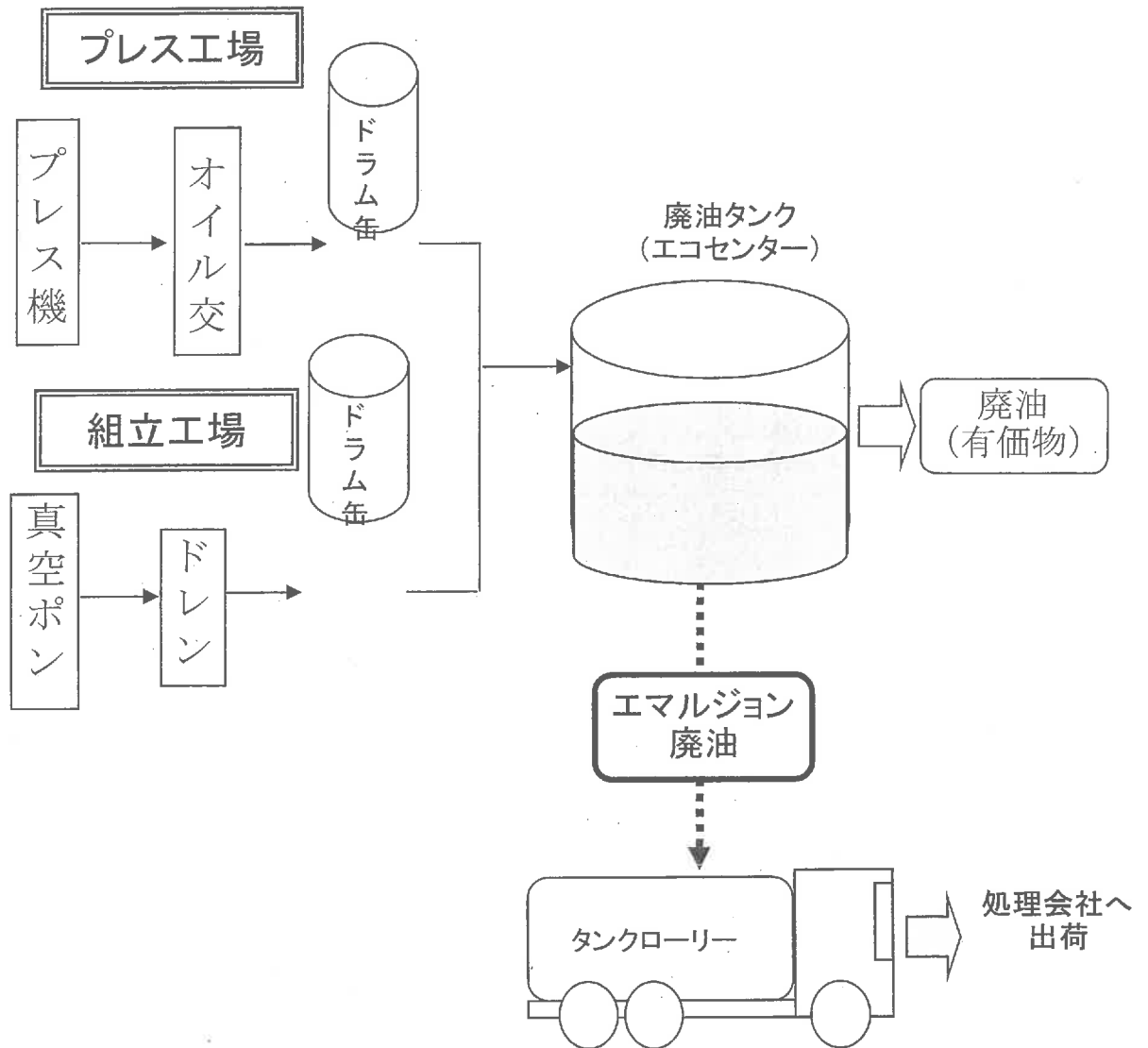
シーラー(白)フローシート



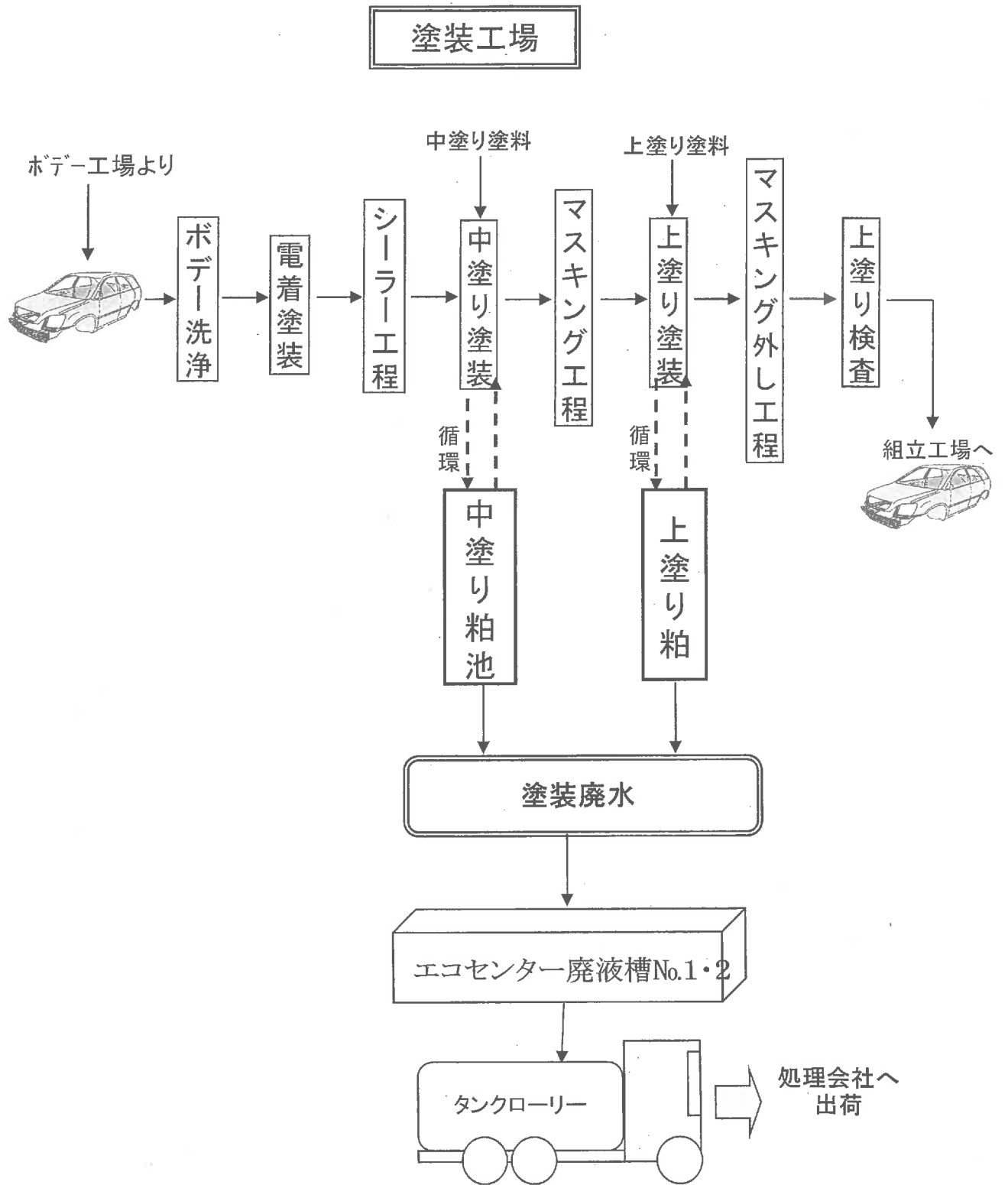
廃プラ(段ボールフィルター)フローシート



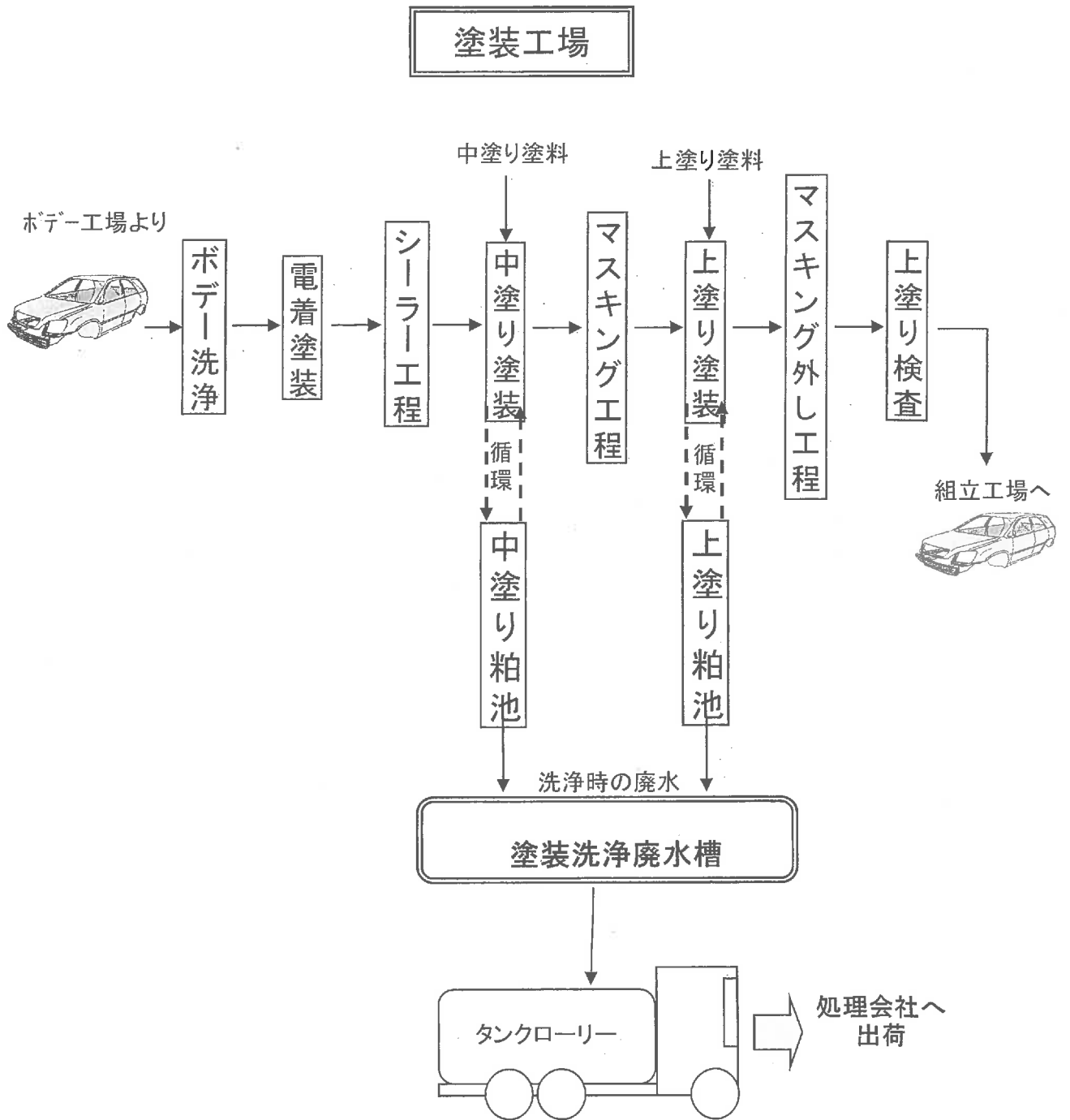
廃油工程フロー



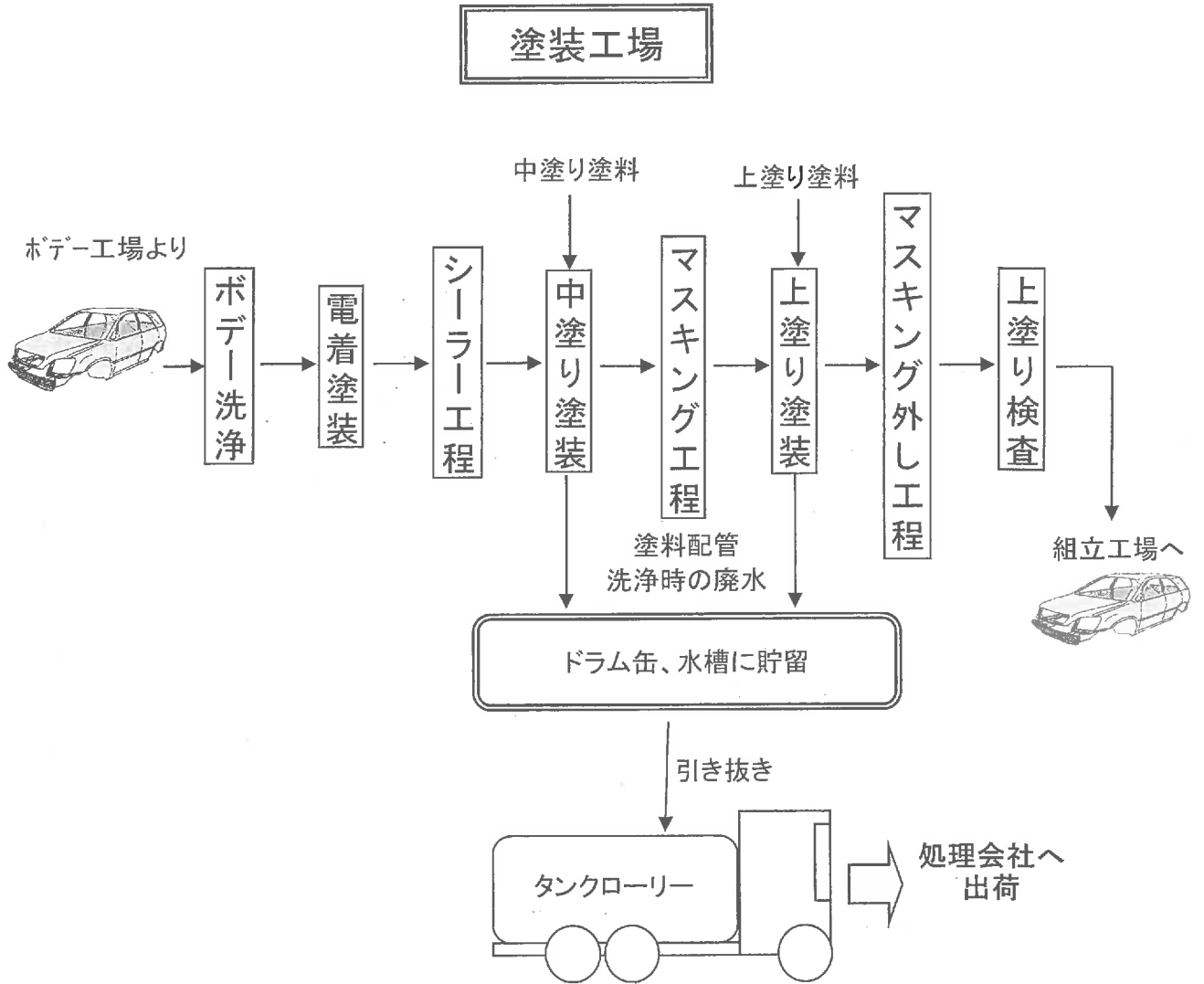
廃酸工程フロー(塗装廃液)



廃アルカリ廃液工程フロー

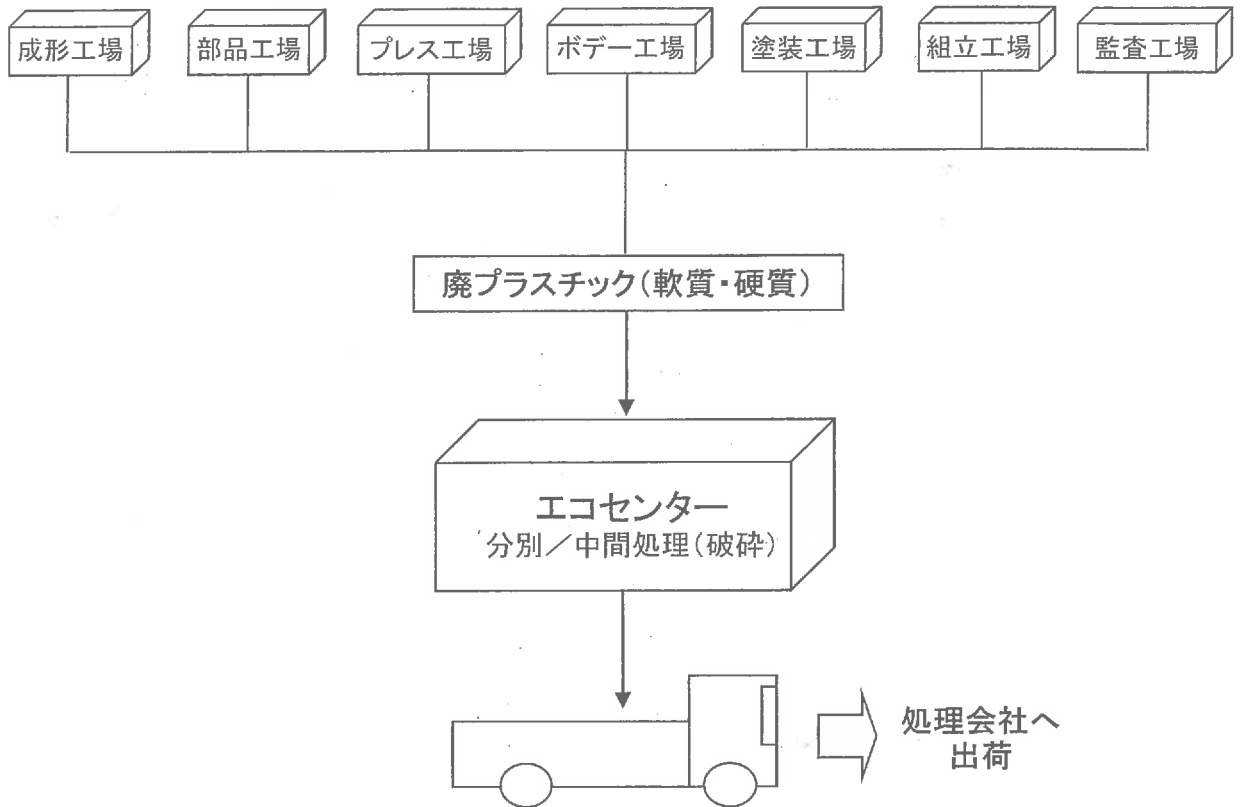


廃アルカリ廃液工程フロー(塗装洗浄廃液)

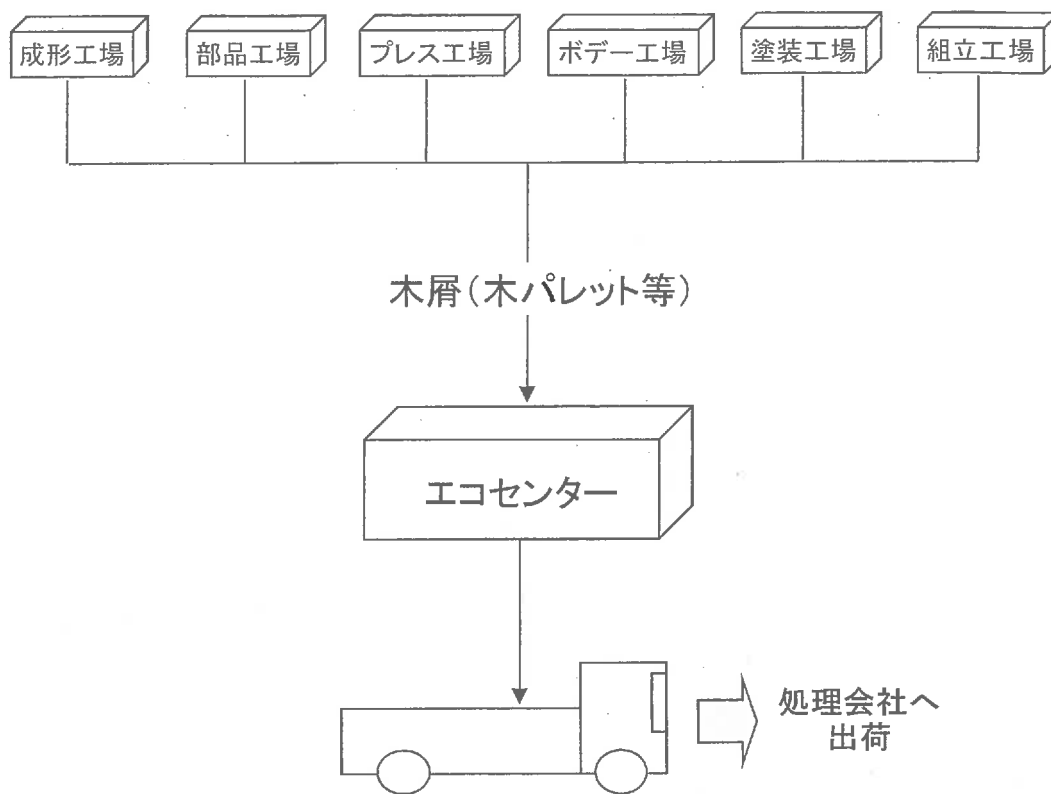


別紙 1

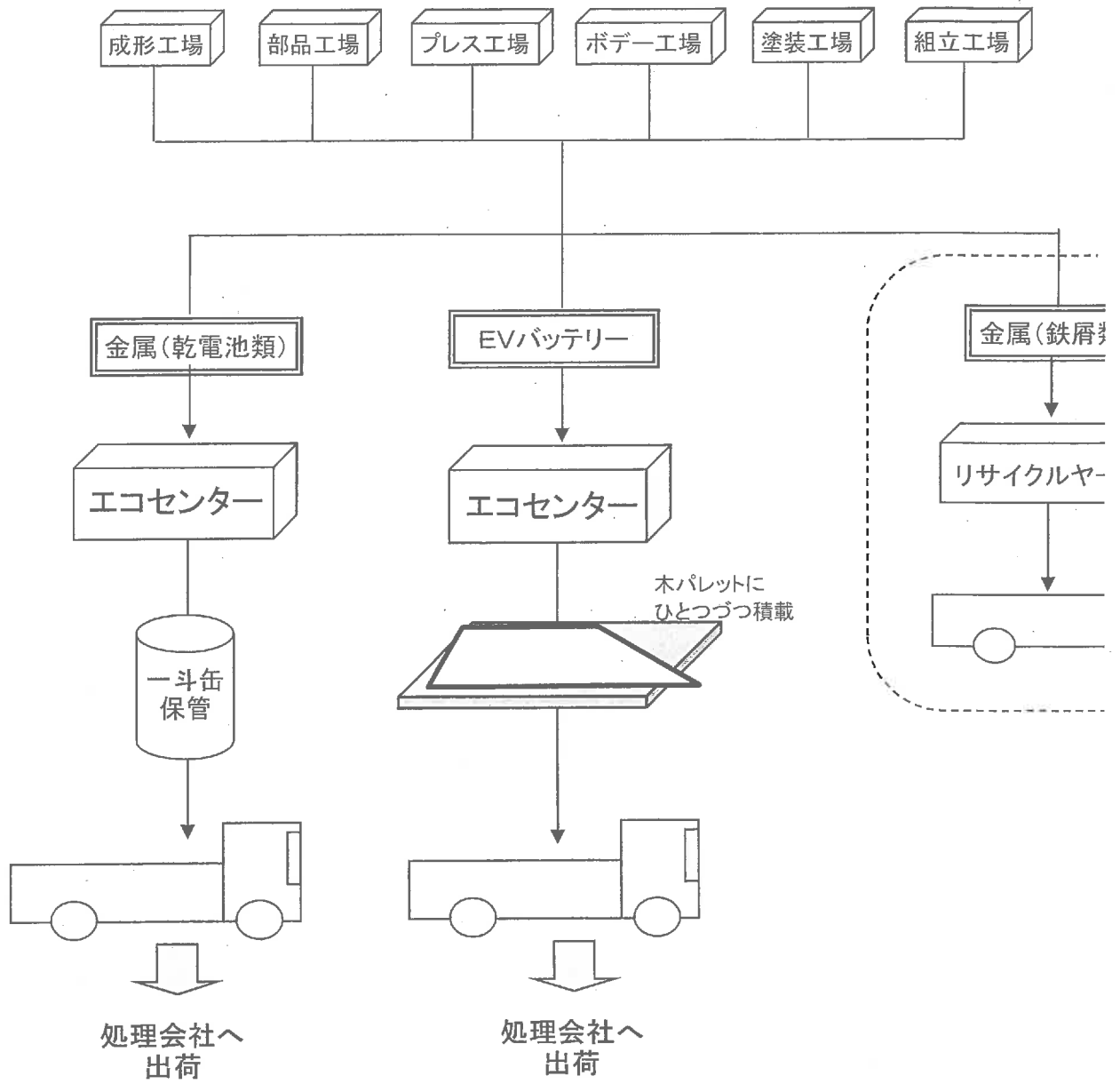
廃プラスチック工程のフロー



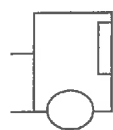
木屑工程フロー



金属屑工程フロー

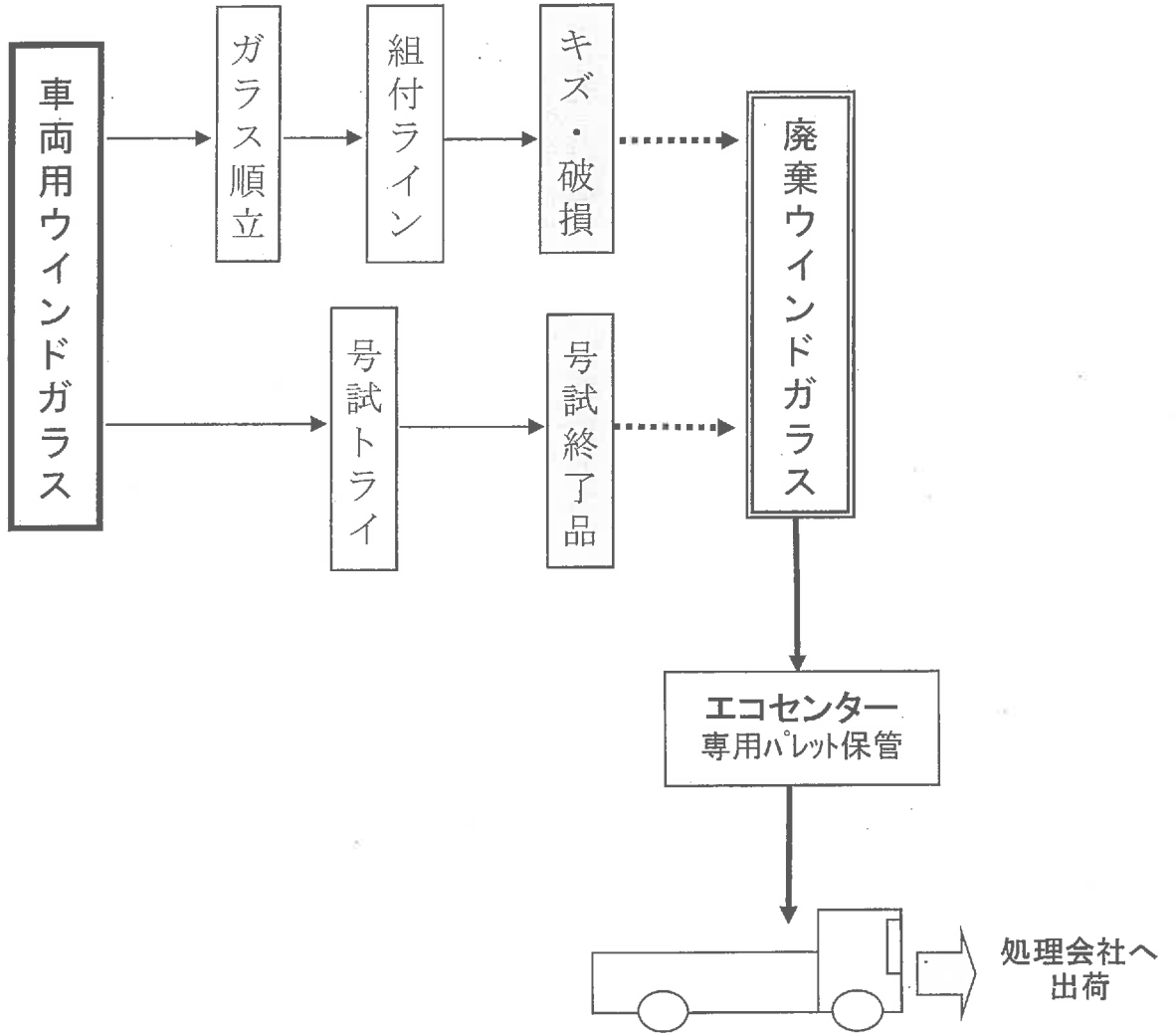


【有価物売却】

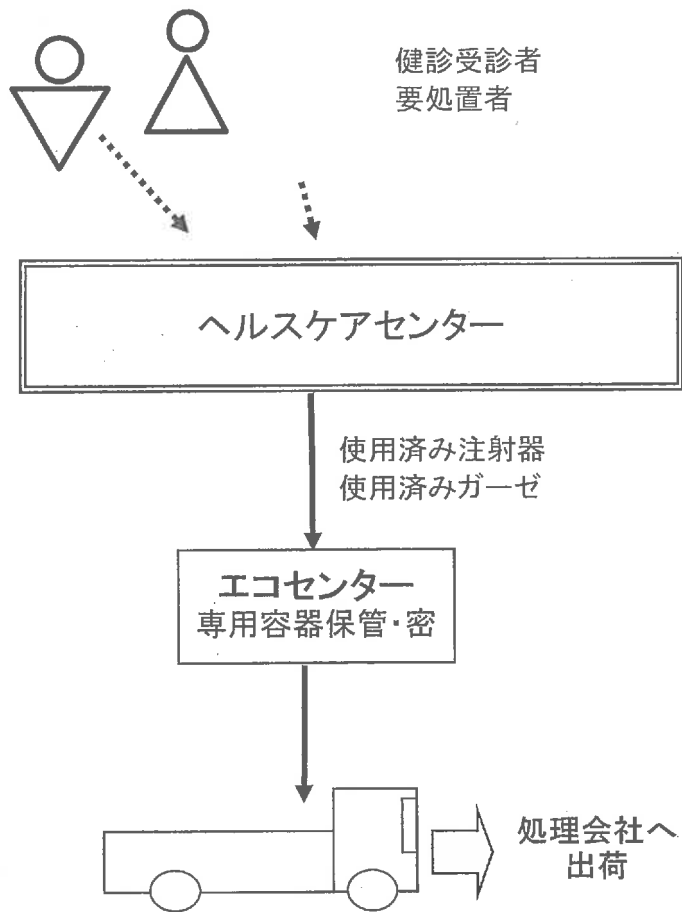


フロントウインドガラス工程フロー (ガラス陶磁器)

組立工場



感染性廃棄物工程フロー
(医療系廃棄物)



水銀使用製品(廃管)フロー

